

議案第 3 号

平成29年度飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会事業計画及び収支予算について

平成29年度飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会事業計画及び収支予算を別紙のとおりとする。

平成29年 3 月29日

飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会
会 長 久 野 時 男

■平成 29 年度事業計画（案）

「飛島村地域公共交通網形成計画」に基づき、以下の事業を実施する。

1. 飛島公共交通バスの運行継続

①飛島公共交通バス（名港線）の運行継続

名古屋港から飛島ふ頭を運行区間とする飛島公共交通バス（名港線）の運行を継続する。

②飛島公共交通バス（蟹江線）の運行継続

近鉄蟹江駅から飛島ふ頭を運行区間とする飛島公共交通バス（蟹江線）の運行を継続する。

2. 海南病院通院支援タクシーの運行継続

①海南病院通院支援タクシーの運行継続

乗合タクシー事業による、海南病院への通院支援タクシーの運行を継続する。

3. バスロケーションシステムの稼働継続

①バスロケーションシステムの稼働継続

平成 29 年 1 月 1 日から稼働開始したバスロケーションシステム(BusGo!!)の稼働を継続する。

4. 利用促進活動

①広報活動・利用促進活動等の実施

ホームページ、広報等による情報発信や村のイベントで広報活動を行う。
また、企業、老人クラブ等への公共交通利用に向けた啓発活動を実施する。
駐輪場の認知度を高めるため、バスの定期券販売時における情報周知等対応を行う。

②バス車両協賛広告事業の実施

サポーター制度の一環として、バス車両協賛広告事業を継続して実施する。

③利用促進関連施策

ふるさとフェスタ等のイベント時パネルを展示しPRするとともに、バ

ス便りを配布し公共交通を身近に感じることのできる取り組みを実施する。

5. 事業評価活動

①乗降客数調査及び分析

事業評価及び事業改善のため、乗降客数調査を実施し分析する。

②飛島村地域公共交通網形成計画中間評価

平成 29 年度は飛島村地域公共交通網形成計画の中間評価年度であるため、飛島バス蟹江線・名港線・海南病院通院支援タクシーの利用者に対するアンケート調査等を実施する。

また、運行事業者に対しては、朝夕の遅れや積み残しの動向について聞き取り調査を実施する。

利用者目線での事業評価を行うとともに、計画で定める中間評価を実施する。

6. 法定協議会等の開催

①法定協議会の開催

予算決算並びに事業評価活動等の結果に基づく次年度事業計画の検討・承認のため、法定協議会を開催する。

②専門部会の開催

法定協議会が実施する公共交通事業の事業計画について検討するため、飛島公共交通バス検討委員会を必要に応じて開催する。

平成29年度 収支予算書 (案)

〔 自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日 〕

収 入

単位:千円

科 目			本年度	前年度	比較	附 記
款	項	目				
1 負担金			2,000	2,000	0	
	1 負担金	1 負担金	2,000	2,000	0	蟹江町・弥富市
2 補助金			90,487	93,984	△ 3,497	
	1 補助金	1 補助金	90,487	93,984	△ 3,497	飛島村
6 預金利息			1	1	0	
	1 預金利息	1 預金利息	1	1	0	預金利息
7 雑収入			1	1	0	
	1 雑収入	1 雑収入	1	1	0	
計			92,489	95,986	△ 3,497	

支 出

単位:千円

科 目			本年度	前年度	比較	附 記
款	項	目				
1 運営費			13	13	0	
	1 運営費	1 会議費	13	13	0	会議お茶代
2 事業費			92,475	95,972	△ 3,497	
	1 事業費	1 事務費	16	16	0	振込手数料等
		2 消耗品費	30	0	30	啓発物品
		3 印刷製本費	551	581	△ 30	定期券等印刷
		5 委託料	91,878	95,375	△ 3,497	運行等委託
3 予備費			1	1	0	
	1 予備費	1 予備費	1	1	0	
計			92,489	95,986	△ 3,497	

予算の過不足が生じた場合は、科目間で流用することができる。